

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

提出日

主治医:

病名:再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病
患者本人へ説明した内容:

プロトコール名:ビーリンサイト療法(在宅用)(6-9サイクル目)(成人45kg以上)

クール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg)
0.000

⚠薬剤師調製時注意事項

生理食塩液250mLに生理食塩液を20mL加え、全量270mLとする。
生理食塩液のバッグに輸液安定化液5.5mLを加える。

※0.2μgのフィルターを通して投与 PVCフリーのルート使用

						DAY 1	...	DAY 4	...	DAY 8	...	DAY 11	...	DAY 15	...	DAY 18	...	DAY 22	...	DAY 25	...	DAY 29
薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日	...	1月3日	...	1月7日	...	1月10日	...	1月14日	...	1月17日	...	1月21日	...	1月24日	...	1月28日
1 生理食塩液		100mL	中心静脈 点滴	1時間		○																
デキサート(6.6mg)		2.5瓶	中心静脈 点滴			○																
2 生理食塩液		50mL	中心静脈 点滴	5分		○																
3 生理食塩液		270mL	中心 持続点滴		入院中は11時に更新 外来時は受診時に更新 (残液は廃棄)	○		○		○		○		○		○		○		○		
注射用水		3mL	中心 持続点滴		ビーリンサイトIVにつき 注射用水3mLで溶解	○		○		○		○		○		○		○		○		
ビーリンサイト	84μg (28μg/日)		中心 持続点滴	72時間 (3.3mL/hr)	溶解液を 80mL抜き取る 専用容器使用して調製	○				○				○				○				84μg
ビーリンサイト	112μg (28μg/日)		中心 持続点滴	96時間 (2.5mL/hr)	溶解液を 107mL抜き取る 専用容器使用して調製			○				○				○				○		112μg
4 生理食塩液		50mL	中心静脈 点滴	15分	注射機方オーダーで対応																○	

標準投与量

ビーリンサイト

※網掛け部分にご記入ください。

発熱・頭痛・痙攣発作・振戦等の有害事象発現時はカロナール・デキサートで対応。

1サイクル: 84日
投与日: 84μg day1,8,15,22
112μg day4,11,18,25
サイクル数:最大4回

【注意事項】

- ・専用容器交換時はルートフラッシュしないこと。
- ・72時間投与(d1、8、15、22)と96時間投与(d4、11、18、25)を交互に行う。(月→木 or 火→金)
- ・外来化学療法に移行する際には、更新時間の調節と受診時間の統一すること。

《注意事項》

- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします。
- 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。